



AAKEL

福岡市中小企業における脱炭素経営サポート事業 GHG排出量見える化と削減計画策定

Aakel Technologies Inc.



2024年2月21日

株式会社ドミックスコーポレーション



設立 1927年（昭和2年）2月

従業員数 50名

資本金 3,000億円

代表取締役 出川 健太

事業内容

- 印刷事業
- IT事業
- 広告事業
- 計画・デザイン・製版・製本・加工まで行う総合印刷業



Environment

環境対応印刷

印刷工場として環境に取り組めることは何か印刷を見つめなおすことからスタートし、地球環境にやさしい材料を使っていこうというところから始めました。材料だけでなく、製造工程まで見直しを行い、グリーンプリンティング工場に認定されました。今、私たちが持っている「環境にやさしい」活動を多くのお客様に使っていただいております。

環境対応印刷 →

ドミックスの新事業

IT Solution



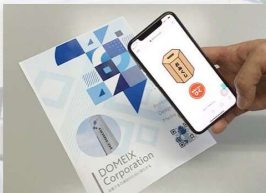
Webサイト制作

会社のPRで使うWebサイトは、デザインで会社の姿勢や雰囲気が伝わります。会社のコンセプトに合ったデザインをご提供することによって、サービスや情報が会社の想いと変わることなくお伝えいたします。



動画撮影・制作

昨今ではYouTubeなどの動画コンテンツの視聴が増えており、印刷物だけではなく動画で情報を得ることが多くなってきました。企業、学校PR方法も動画が増えており現代人のライフスタイルにあった宣伝をすることが可能です。



デジタルコンテンツ

ドミックスはオリジナルコンテンツの「ドきゅあ〜る」を導入し、印刷物からデジタル業務まで積極的に承っております。印刷物だけにとらわれない自由なやり方で、企業の競争力につながります！

見える化



Scope3のデータ収集の例

カテゴリ1
購入した商品・製品
種類ごとに集計

カテゴリ4
輸送・配送
重さと距離を算出

カテゴリ7
従業員の通勤
移動手段別に集計

2022年2月1日～2023年1月31日 主要購入品目

内訳		
品名	金額	構成比率
用紙代		0.00%
印刷版代		0.00%
インク代		0.00%
薬品代		0.00%
容器包装品代		0.00%
発送費		0.00%
車燃料費		0.00%
修繕費		0.00%
外注費		0.00%
作業用品代		0.00%
ソフトウェア及び クラウドサービス使用料		0.00%
消耗品		0.00%
その他		0.00%
		0.00%

2022年2月1日～2023年1月31日 主要輸送項目

購入品目	輸送量(t)	輸送距離(km)	輸送回数
用紙	36,490	9.6	142
用紙	39,199	2.5	178
用紙	91,781	8.3	229
用紙	19,049	10.0	78
用紙	57,973	8.0	204
インク	2.12	5.5	85
印刷版	3.86	2.2	106

2022年2月1日～2023年1月31日 交通費

		3 か月	
メンバ ▼	手段 ▼	金額 ▼	
1	地下鉄	33,780	
1	バス	24,370	
2	地下鉄	76,590	
2	バス	24,370	
3	地下鉄	58,150	
3	バス	24,370	
4	バス	21,800	
5	バス	21,800	
6	バス	21,600	
6	JR	27,890	
6	バス	24,370	
7	バス	21,800	
7	JR	40,490	
7	バス	24,370	
8	バス	24,370	
8	地下鉄	29,130	
8	バス	24,370	
9	JR	19,430	

排出量計測結果



Scope3のカテゴリー4（輸送・配送）の使用より、Scope3からの排出が最大

計測対象：本社の拠点

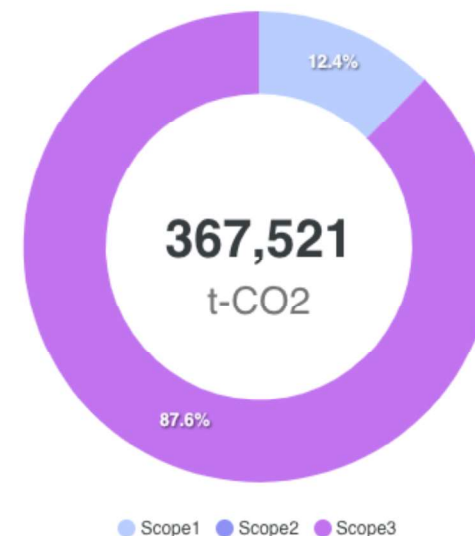
計測期間：2022年2月～2023年1月

測定範囲：スコープ1,2,3（C1,2,4）

計測ポイント

- Scope3の排出が87%だが削減が難しいため、Scope1,2の削減を優先的に行う
- Scope1はガソリンからの排出のため、EV導入を検討
- Scope2は電気の使用からの排出のため、契約している電力プランの再エネ化を検討

CO2総排出量



内訳

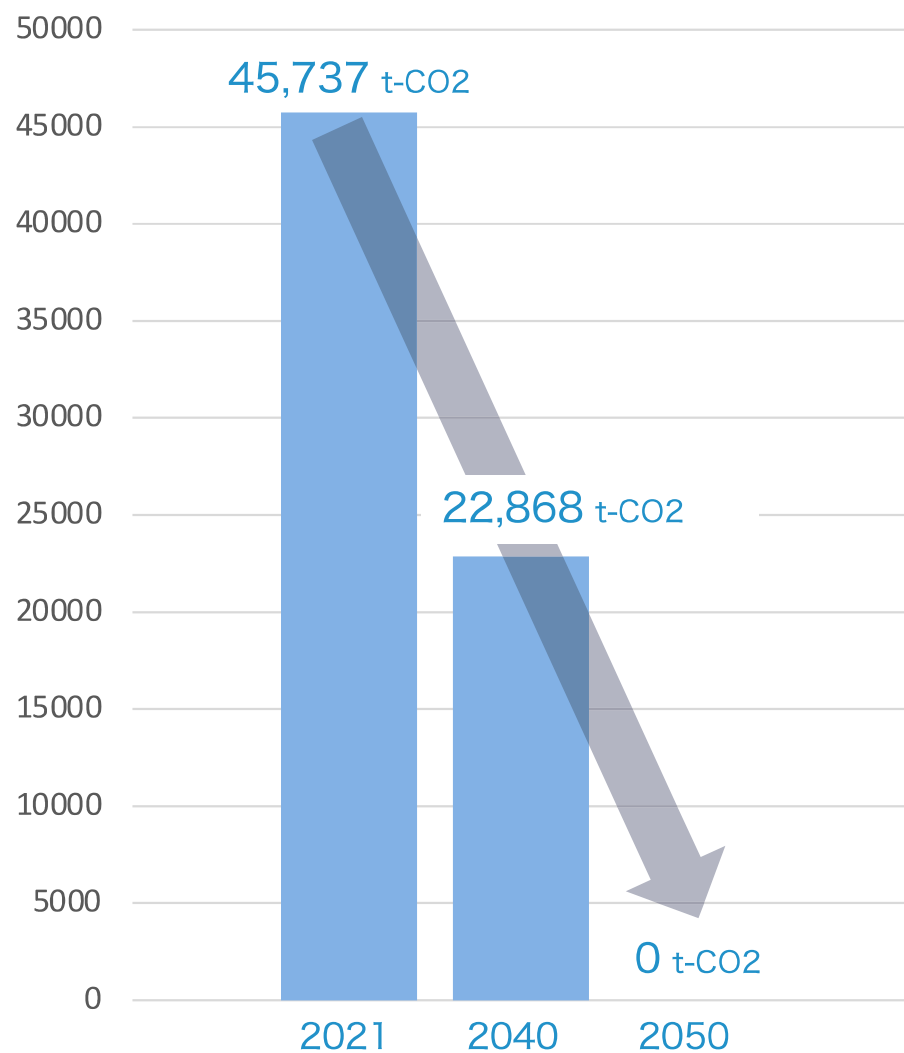
- Scope1は45,601t-CO2の排出
- Scope2は136t-CO2の排出
- Scope3は321,784t-CO2の排出
- C4：244,543t-CO2の排出

基準年度、目標年度、目標値の設定



2040年度までに50%、2050年度までにカーボンニュートラルを目指す

Scope1,2排出量



基準年度

2021年度
45,737 t-CO2

目標①

2040年度
22,868 t-CO2 (50%削減)

目標②

2050年度
0 t-CO2 (100%削減)

取り組み内容



2040年

2050年

電
化

社用車をEVに変更

- 既存のガソリン車の車種と走行距離を調査し、費用対効果を策定
- 走行距離の長い費用対効果の出るものから順次変更

社内制度の見直し検討

- 社員所有車でのガソリン使用を減らす施策の検討

効
率
化

照明

- 蛍光灯からLEDへ置き換え

遮熱塗料

- 夏の電力需要カット
- 費用対効果の計算

空調・換気

- 機器更新による効率化

キュービクル

- 機器更新による効率化

再
エ
ネ
化

再エネプラン切り替え

- 電力契約を再エネプランに変更
- EVの導入に合わせて電気契約を見直す